

学校番号	17	学校名	静岡南部特別支援学校	校長名	高田 宗享
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標 「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」

- 自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子
- 生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子
- 心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

(2) 目標具現化の柱

【学び高め合う（専門性）】

- 児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校
- ア 生活年齢、学びの積み重ねを大切にした系統性のある教育課程の編成
- イ 的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践
- ウ 教職員が主体的に語り合っており取り組む授業改善や業務改善の推進

【守り認め合う（安全・安心）】

- 命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかに活動できる学校
- エ 清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの推進
- オ 学校安全、防災、防犯体制見直し、共通理解、教職員の主体性強化
- カ 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いを認め合い、大切にする教育の充実

【つながり合う（連携）】

- 児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校
- キ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実
- ク 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進
- ケ 静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の模索、検討

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活年齢、学びの積み重ねを大切にした系統性のある教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性のある小中校外学習一覧の作成 ・学部内で年間指導計画の見直し（年4回） ・学部を超えて、教育課程グループ主任による年間指導計画の相互確認（学期末） ・個別の指導計画様式一部改訂（指導段階を表記） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活年齢、発達段階を踏まえ指導している ・学びの連続性を意識し、学年や学部を超えて系統的に学習計画を立てている ・日常的に年間指導計画を活用している ・学習指導要領に基づき、目標設定や学習評価をしている 	教務情報課
		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の姿を見据えた進路指導の充実 ・職員間での進路情報共有 ・進路に関する職員研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像をイメージし、進路指導を行っている ・保護者にとってわかりやすい進路指導や参考になる進路情報を伝えている 	進路地域支援課

様式第1号

イ	的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ・共通のアセスメントツールの活用 ・将来像や現在の実態に応じた目標設定 ・チームで指導目標や支援方法の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・「何ができるようになるか」(将来像)をイメージし、授業づくりをしている ・チームで児童生徒の実態や目標を共通理解している ・児童生徒や保護者が願う将来像に応じた授業を実践している 	研修課
		<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた適切な教材教具の精選 ・姿勢作りのポイント紹介 ・代替コミュニケーションツール等の紹介 ・ICTを活用した授業推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを支える教材教具及び補助具(姿勢保持補助、代替コミュニケーションツール等)を指導に活かしている ・ICT機器を授業で活用し、主体的な学びを促している 	自立活動課 教務情報課
ウ	教職員が主体的に語り合っ て取り組む授業改善や業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・単元カードの作成と授業反省の確実な実施 ・日常的に教師間で授業について語り合う習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部を超えて授業について語り合っている 	研修課
		<ul style="list-style-type: none"> ・小グループで業務改善について語り合う場の設定 ・マイ定時退庁日、一人一言メッセージの実施 ・学部、学習グループでマイ定時退勤日促進と評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループで業務改善について語り合い、できることを見つけている ・全教職員が時間外勤務月45時間以内、年360時間以内で勤務している ・マイ定時退勤日を設定し、実行している 	総務会

【守り認め合う(安全・安心)】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかに活動できる学校

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
エ	清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接施設とこまめに情報交換を行い、臨機応変な感染対策実施 ・校内安全点検実施(月1回)し、迅速に対応 ・学期末の校内清掃実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に状況に応じた感染対策をしている ・危険箇所等を見つけた際、そのままにせず、迅速に改善している ・児童生徒や保護者が安心できる学習環境を整備している 	保健安全課
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な校内巡視による施設管理 ・教員と連携し、迅速で計画的な物品整備 ・静岡視覚特別支援学校事務との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に不良箇所が生じた際、迅速に修繕している ・物品の在庫状況を常に確認し、計画的に整備している ・ICTを活用し、静岡視覚特別支援学校と情報共有している 	事務

様式第1号

オ	学校安全、防災、防犯体制見直し、共通理解、教職員の主体性強化	<ul style="list-style-type: none"> ・不測の事態に備えた緊急時対応訓練実施 ・静岡視覚特別支援学校と連携し、マニュアル改訂 ・静岡視覚特別支援学校と合同の防災訓練実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の自分の役割を理解し、場に応じた判断ができています ・隣接施設や静岡視覚特別支援学校と連携し、安全対策がとれている 	保健安全課
カ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いを認め合い、大切に教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部人権教育実施（年間2回） ・スクールカウンセラーと連携し、悩みのある児童生徒や保護者に迅速な対応 ・人権チェック（年3回） ・人権ディスカッション（年3回） ・職員人権研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が対人関係や人権等に関する悩みゼロで学校生活を過ごしている ・教職員が高い人権意識をもって児童生徒や同僚に接している 	生徒指導課

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
キ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域施設での作品展示 ・学校だより、行事案内を地域に配布 ・学校運営協議会で地域資源の開拓とつながり強化 ・体験的学習の推進と充実 ・日常的に隣接施設と情報共有 ・リハビリ見学実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材や資源を活用している ・学校のことを知る人が増え、つながりが広がっている ・リハビリ見学が日々の授業に活かされている ・学校が地域に貢献できることは何かを模索し、実践できている 	進路地域支援課 教務情報課 自立活動課
		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携強化 ・面談や学部だより等で学習の目標や内容を保護者に説明 ・保護者を巻き込んだ学校行事実施（NANBU スポフェス、なんぶっことボッチャ、NANBU ムービーフェス） ・訪問教育では、スクーリングやリモート学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が学習の様子がよくわかると評価している ・より多くの保護者が学校行事に参加している ・訪問教育保護者がスクーリングやリモート学習により人との関わりが広がったと評価している 	教務情報課 保健体育科 進路地域支援課 生徒指導課
ク	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に応じた交流内容の精選 ・ICT機器の活用 ・交流校との綿密な事前打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・方法や内容を工夫し、交流教育を持続している ・双方に成果の残る学校間交流を実施している 	進路地域支援課
ケ	静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の模索、検討	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の相互確認 ・共同教室の調整 ・施設の共通ルール確認 ・合同職員研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通ルールに基づき、施設を共有できている ・日常にかかわり、互いを認め合いながら共に学んでいる 	教務情報課